

中学校名	市	主な入試の変更点と予測
栄東	さいたま市	東大クラス選抜Ⅲを2月2日午後から2月4日午前に移し、国算または算理から4科に変更。模試では希望者が増えている回次が多く、2017年も多くの応募者を集めそう。東大クラス選抜Ⅲはやや難化すると思われるが、他の回は併願前提の受験生が多いことから、2016年入試並みの難度になりそう。
開智	さいたま市	入試の変更点はなし。模試の希望者数は、先端・一般各回とも増加傾向で人気が上がっている。ただ、都内校の併願受験が多いことから、最終段階で開智と栄東のどちらか一方に絞る受験生も出るかもしれない。こうしたことから、先端・一般各回とも難度は2016年入試並みになりそう。
大宮開成	さいたま市	入試の変更点はなし。模試では、男女とも全体的に希望者が増加傾向。1月12日の特待生入試や10日の特進入試の増加が目立ち、比較的上位の学力層と中堅の学力層の両方の希望者が増えていることがわかる。併願前提の受験生が多いことから、各回の難度は2016年入試並みだと思われる。
埼玉栄	さいたま市	日程・時間帯で募集クラスを分けていた入試を、1月10日・11日の午前・午後ともどのコースでも受験できるように変更する。2月4日午後の医学クラス入試を3日午前に移して、難関大クラスも募集する4科入試に変更。入試が細分化されているため、各回次を合計すると模試での希望者は増えている。医学・難関大クラスもやや増加しているが、志望順位が高い進学クラス希望者の増加が目立特に目立つ。ただ、難化するほどの増加ではなく、各回次の難度は2016年入試並みだと思われる。
浦和実業	さいたま市	一部の入試日程を前倒しにするが、入試情勢に影響するものではない。模試での希望者はやや減っている。都内の中堅校受験生が1月入試校として選ぶケースが多い学校なので、最終的には2015年とあまり変わらない応募者数になりそう。1月12日の2回午前・午後や、15日の適性検査入試、21日の3回は、少し入りやすくなるかもしれない。
浦和ルーテル	さいたま市	入試を2回から4回に増加、英語入試や適性検査型入試を実施するなど、入試のスタイルが大きく変わる。小規模な入試なので、難度に影響はなさそう。
市立浦和(公立一貫校)	さいたま市	曜日の関係で1次の選抜日程が1月10日から14日に動く。私立の入試開始日とずれるため応募者が増えそう。模試の希望者数も増加傾向。1次合格者に2次を実施する2段階選抜なので、難度そのものはあまり動かないと思われる。
埼玉大附属(国立)	さいたま市	模試での希望者に目立った動きはなく、難度はあまり変わらないと思われる。
武南	蕨市	模試での希望者数に少し動きはあるものの、各回とも2016年入試並みの難度だと思われる。
国際学院	北足立郡伊奈町	一部入試の日程等を変更。模試での希望者数に少し動きはあるものの、各回とも2016年入試並みの難度だと思われる。
伊奈学園(公立一貫校)	北足立郡伊奈町	曜日の関係で1次の選抜日程が1月10日から14日に動く。私立の入試開始日とずれるため応募者が増えそう。模試の希望者数も増加傾向。1次合格者に2次を実施する2段階選抜なので、難度そのものはあまり動かないと思われる。
獨協埼玉	越谷市	3回の入試日を1月18日から17日に繰り上げる。模試では女子の希望者が少し増えている。男子は1月11日の1回が2015年並み、2・3回は動きがあるが、1回の不合格者が流れるので、あまり変わらないとみてよい。女子の希望者増は難化するほどではなく、各回とも2016年入試並みの難度になりそう。
春日部共栄	春日部市	1月10日午後を2科4科選択から4科に、11日午前を4科を2科4科選択に、15日の3回は4科から2科に変更。模試では女子の希望者が増えている。男子は回次によって違いはあれどやはりやや増加で、人気を上向いている。併願前提の受験生が多いことから、各回とも難化することはなさそう。
昌平	北葛飾郡杉戸町	一般1・2回を英語でも受験できるように変更。模試では、男子の希望者が早い日程の入試で少し増えている。女子は2015年とあまり変わらない。男子の希望者増は難化するほどではなく、各回とも難度は2016年とあまり変わらないと思われる。
開智未来	加須市	1月11日午後の未来Aを2科4科から4科に変更するほか、12日午後の未来Bと19日の特選2回を英語でも受験できるように変更。模試では男女ともやや希望者が減少している。少々応募者が減っても、各回次とも入りやすくなることはなさそう。
本庄東高附属	本庄市	2・3回の入試日程を変更するが、これは曜日の関係でのこと。歴史が浅い学校だが、難関大学合格者を輩出し、地元での存在感が増している。県北部は模試での有効なデータがとりにくいのが、安定した人気が続いているよう。各回とも2016年入試並みの難度になりそう。
本庄第一	本庄市	2016年春に開校。曜日の関係での入試日程移動のほか、1月10日に英語と作文の入試を新設。難度は変化しないと思われる。
東京成徳大深谷	深谷市	曜日の関係で一部の入試日程を変更。難度は変化しないと思われる。
西武文理	狭山市	1月10日午前の1回と12日の2回を英語でも受験できるようにする。15日の3回を18日とし、一般クラス希望者は4科から2科4科に変更。模試では希望者が増えている回次も見られ、全体的には男女とも特選クラスを中心に人気を上向いてきたよう。ただ、難化するほどではなく、特選・一般とも各回の難度は2016年入試並みになりそう。
星野学園	川越市	入試の変更点はなし。男子は模試によって希望者数の動向に違いが見られるが、女子は少し増えている。都内校との併願前提の受験生も多く、各コース・各回とも難化することはなさそう。
秀明	川越市	入試に一部変更はあるが、各回共に難度に変化はなさそう。
狭山ヶ丘高附属	入間市	1期生が現在高校1年生という新しい学校。2月の入試の日程を動かすが、入試情勢に影響はない。模試では、やや女子の希望者が増えているものの難化するほどではなく、各回次とも難度に変化はなさそう。
西武台新座	新座市	1期生が現在高校2年生という新しい学校。入試の変更点はなし。模試では、1月10日午後の特進選抜1回や14日の特待の希望者が少し増えているが、目立つほどではない。各コース・各回とも難度に変化はなさそう。
聖望学園	飯能市	2月の入試の日程を動かすが、入試情勢に影響はない。模試での希望者は概ね2015年並みで、各回とも2016年入試並みの難度になるとと思われる。

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
自由の森学園	飯能市	入試に一部変更はあるが、各回共に難度に変化はなさそう。
東京農大第三	東松山市	1期生が現在高校3年生という学校。1月10日午前の総合理科入試と午後の1回を入れ替え、どちらも特待入試に変更、16日の入試を14日に前倒しするなどの変更がある。模試では男女とも希望者数に目立った動きはない。
埼玉平成	入間郡毛呂山町	S選抜、進学2コース制を廃止して進学コースに合わせた入試に変更。各回共に難度に変化はなさそう。